看護部生涯教育研修

日時:平成26年9月2日(火)16時40分~17時30分

場所:新王子病院 4階会議室A

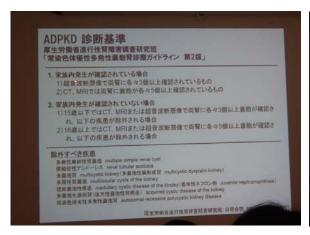
内容:ADPKD(常染色体優性多発性のう胞腎)

講師:大塚製薬 福留 平氏

PKD遺伝子変異により両側腎臓に多数の嚢胞が進行性に発生、増大し腎臓以外の種々の臓器にも障害が生じる、最も頻度の高い遺伝性腎疾患であるADPKD(常染色体優性多発性のう胞腎)ついての病態、診断基準、合併症、治療等の説明とサムスカ服薬での浮腫性疾患とADPKDの違いサムスカ入院パスの紹介等とても興味深い内容でした。







		ENGINE
	心性浮體・肝性浮體	ADPKD
対能・効果	●ルーブ判除薬等の他の利尿薬で効果 不十分な心不全における体液貯留 ●ルーブ判除薬等の他の利尿薬で効果 不十分な肝硬変における体液貯留	賢容積が既に増大しており、かつ、賢容積の 増大速度が速い常染色体優性多発性のう能 質の進行抑制
用法用量	心 15mgを1日1回 軒 7.5mgを1日1回	1日60mg~120mgを 2個に分けて役与
MA	適切な水分補給が困難な肝性脳症の患 者	●慢性肝炎、薬剤性肝機能障害等の肝機能 障害●重算な腎機能障害(eGFR15未薬)
承認条件	tal.	専門医(医師登録が必要)全例調査
高No血症	3.3%0	4.0% ²⁷ (150 mmol/L \$LE)
肝機能異常	0.38% (うち重鉱 0.1%) 1)	正常値上限 の2.5 倍以上の ALT増加 4.9% 重調な ALT増加 0.9% ²¹
投与期間	2週間以内が66%リ	3年間中
対象患者	半数が80歳以上り	投与開始時 20~50歳7